

農業開発総合センター大島支場の概要

1 所在地

奄美市名瀬浦上町7番1号

2 沿革

1902年(明治35年)大島糖業模範場として発足
 1912年(明治45年)県立糖業試験場となる
 1935年(昭和10年)県立農事試験場大島分場に改称
 1946年(昭和21年)大島産業試験場に改称, 県立農事試験場大島米麦原種場跡地に大島産業試験場浦上試験地を設置
 1956年(昭和31年)現在地(名瀬市浦上)に移転
 1958年(昭和33年)農業試験場大島支場に改称
 1987年(昭和62年)大島支場に亜熱帯果樹研究室と病害虫研究室の2研究室を設置, 名瀬市都市計画事業, 奄美離島振興事業による場整備, 奄美群島農業試験場整備事業により徳之島支場に3研究室を設置
 2006年(平成18年)農業開発総合センター大島支場に改称

3 組織及び職員数

◇支場長

(亜熱帯果樹研究室長兼務) 1名
 (研究職 1名)

◇総務室長 1名

(事務職 1名)

◇亜熱帯果樹研究室 3名

(研究職 1名)

(労務職 2名)

◇病害虫研究室 5名

(研究職 3名)

(労務職 2名)

◆合計 10名

(事務職 1名)

(研究職 5名)

(労務職 4名)

4 施設概要

◆敷地面積 40,200㎡

第一圃場面積(畑) 11,700㎡

第三圃場(果樹園) 8,300㎡

大島支場建物敷地, 第一圃場及び建物配置図



建物番号	名称	建物番号	名称
1	事務所兼研究棟	10	堆肥舎
2	受変電室	11	果樹第2ガラス室
3	旧館	12	病虫第3ガラス室
4	収納兼調査室	13	ポンプ室
5	農機具格納庫	14	果樹用パイプハウス
6	病虫第1ガラス室	15	病虫用パイプハウス
7	病虫第2ガラス室	16	病虫用パイプハウス
8	果樹第1ガラス室	17	病虫用パイプハウス
9	ポンプ室	18	果樹用2連式鉄骨ハウス



ガラス室



大島支場第三圃場及び建物配置図



建物番号	名称
1	収納倉庫貯蔵庫
2	収納倉庫貯蔵庫
3	ミストガラス室
4	収納倉庫貯蔵庫
5	パイプハウス

5 主な研究内容

■ 奄美地域の農業における「稼ぐ力」の実現に向けた果樹・病虫害防除技術の開発

□ 亜熱帯果樹研究室

- ・ たんかんおよび「津之輝」等の特産かんきつ類の栽培技術開発
- ・ マンゴー、パッションフルーツ、ピタヤ、スモモ等の特産トロピカルフルーツ類の栽培技術開発

□ 病虫害研究室

- ・ さとうきびの病虫害防除技術の開発（さび病，黒穂病，メイチュウ類）
- ・ アリモドキゾウムシ，カンキツグリーニング病等の特殊病虫害の防除技術の開発

6 これまでの成果等



奄美地域におけるパッションフルーツの台風回避技術



春夏施肥によるスモモ「カラリ」の開花不良軽減及び増収効果



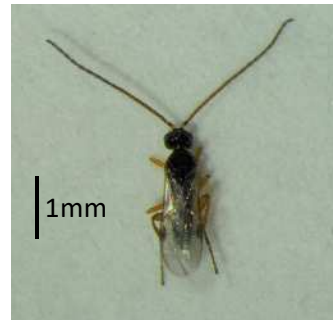
かんきつ「津之輝」の大玉果生産等に向けた摘果技術



イネヨトウに対する交信かく乱法による有効性の検証



カンキツグリーニング病原細菌を高精度に検出できる採取部位



イネヨトウ幼虫寄生蜂（スィムサムライコマユバチ）の寄生状況